

岩手県医療ソーシャルワーカー協会

平成 30 年度

研修のご案内



目 次

- 1、はじめに
- 2、年間研修スケジュール
- 3、研修詳細
- 4、研修申込書
- 5、研修参加記録

【研修の申込みにあたって】

年間スケジュールにおいて日時、会場はほぼ決定しておりますが、諸事情により変更もありえることをご理解ください。変更の際は協会メーリングリスト、ホームページ掲示板でお知らせしますので、各自確認をお願いします。時間が基礎研修Ⅲ以降14～17時に変更になっています。認定医療社会福祉士の申請ポイントは前後15分を超えた入退出に対しては発行できませんのでご注意ください。

「総会時一般研修」および「3団体合同研修」関しましては、例年通り個別に通知いたしますが、そのほかの各研修は研修日時の10日前までに、研修申込書を利用し、各研修申込先へHP、FAXもしくはメールにて申し込みを行ってください。担当者により申込先、申込方法が異なりますのでご注意ください。

「事例検討」、「ピアスーパービジョン」、「スーパーバイザー養成研修」においては年間を通してクローズグループの研修会といたしますので、年度初めに申し込んでいただきます。

原則、予定の研修にすべて出席できる方になりますので、スケジュールを御確認のうえ、お申し込みください。

このプログラムは3年で1クール修了、6年目までに2クール修了することを目標に作成しております。研修の内容により、◎で奨励対象を示しておりますが、経験年数を問わず申し込みは可能です。研修参加記録用紙を用いて記録を行ってください。

スーパーバイザー養成研修は実務経験7年以上の会員を原則対象としておりますが、スーパーバイザーの役割を担わなければならないなどの事情のある方は参加可能とします。

ご不明な点がございましたら、研修担当までお問い合わせください。

はじめに

当協会では、以前より課題となっていた会員のスキルアップを目的とした研修体系検討作業部会を平成28年度より立ち上げ、研修内容及び体系構築の検討を行ってきました。

今年度は試行期間とし、来年度からの本格施行を目標としています。基礎研修・理論研修・実践研修から研修体系は、3年を1クールとし、6年をかけて2回ずつ履修することを想定しています。原則、初任者は早めに履修していただくことをお勧めしますが、2度目の履修によって経験を踏まえ原点を見直す作業もまた実感を伴った新たな知識を得るものと考えているからです。

スーパービジョン部会として取り組んでいたピアスーパービジョンについても研修体系に盛り込み、スーパーバイザー養成と内容を区別することで段階を追った内容の充実を図りたいと思います。また、年度ごとのクローズグループとすることで、知識、体験の積み上げ、グループスーパービジョンに必須な安心感を担保したグループの構成を意図しています。

われわれ医療ソーシャルワーカーを取り巻く現状は、大きな変化の中にあります。医療機関の機能分化が進み、多職種との連携、地域における連携、支援困難ケースへの対応など医療ソーシャルワーカーが求められるものは個別性と専門性を増しています。ソーシャルワーカーの配置数は増えてはいますが、日常の業務の中で価値・倫理・知識を意識して振り返ることは容易ではなく、専門職団体として初任者の育成や少人数の配置の会員のバックアップをしていくことも重要な役割ではないかと考えています。

初任者からベテランまで全ての会員が現状で立ち止まることなく、医療ソーシャルワーカーとして必要な価値・倫理・知識・技術について学び続けるこの機会を有効に活用していただければ幸いです。

平成29年6月1日

研修体系検討作業部会
代表 菊池 涼子

平成 30 年度 年間研修スケジュール

	基礎研修	機能別 ソーシャルワーク	実践方法論	事例検討	スーパー ビジョン	定例研修
4月	基礎研修Ⅰ 21 保健医療ソーシャルワーカーの歴史と今後の展望					
5月	基礎研修Ⅱ 26 医療機関の機能とソーシャルワーカーの役割					
6月	基礎研修Ⅲ 9 価値・倫理・理論とスキル					定例研修Ⅰ 23 地域包括ケアの深化・地域共生社会
7月			行動理論 21 認知理論		基礎研修Ⅴ 28 スーパービジョンの概要	定例研修Ⅱ 14 3団体合同研修会 「対話促進によるコンフリクト・マネジメント」
8月		基礎研修Ⅳ 18 急性期 地域包括ケア	危機介入 4			
9月		基礎研修Ⅳ 8 回復期リハ 難病		事例検討Ⅱ 29	1 スーパーバイザー 養成研修	
10月		基礎研修Ⅳ 20 精神科領域			困難事例を用いた グループ 13 スーパービジョン	日本医療社会福祉協会 27～28 意思決定支援研修会 マリオス
11月		10 基礎研修Ⅳ 介護保険関連				60周年記念 24 (定例研修Ⅲ)
12月	基礎研修Ⅷ 8か15 じえじえ cafe			8か15 逐語録による 事例検討Ⅰ		
1月		基礎研修Ⅳ 26 療養型病棟 緩和ケア 在宅医療			基礎研修Ⅵ 12 ピアスーパー ビジョンⅠ	
2月			2 エンパワメント ナラティブ		16 指導事例を用いた グループ スーパービジョン	
3月				事例検討Ⅲ 16	基礎研修Ⅶ 2 ピアスーパー ビジョンⅡ	

基礎研修
理論方法
実践型
定例研修
バイザー養成（7年目以上）

研修詳細

基礎研修Ⅰ 保健医療ソーシャルワーカーの歴史と今後の展望

目的	医療ソーシャルワーカーの歴史的背景、県協会の歩みを知ることにより、病院に医療ソーシャルワーカーが存在する意味を考える。 医療保険制度の概要と今後の動向を知る。
対象	◎ 1～3年 ◎ 4～6年 ○ 7年以上
内容	① 日本における保健医療分野のソーシャルワークの歴史 ② ソーシャルワークは日本にどのように根付いたのか ③ 岩手県医療ソーシャルワーカー協会の歴史 ④ 医療保険制度と医療システム ⑤ 医療環境の変貌とソーシャルワーク ⑥ 医療改革と今後の展望
開催日	平成30年4月21日（土） 13：30～16：30
会場	岩手医科大学附属病院 循環器センター 3階 研修室
講師	攝待 幸子 氏
参加費	会員 500円 非会員 1000円
備考	保健医療ソーシャルワーク実践 保健医療ソーシャルワーク原論 岩手県医療社会事業協会50年史

基礎研修Ⅱ 医療機関の機能とソーシャルワーカーの役割

目的	医療機関内における医療ソーシャルワーカーの役割を知る。 指針や倫理を通じ、医療ソーシャルワーカーのあるべき姿を考察する。 他職種他機関の連携・協働の在り方を考える。
対象	◎ 1～3年 ◎ 4～6年 ○ 7年以上
内容	① 医療ソーシャルワーカー業務指針 ② 医療機関の機能とソーシャルワーク実践 ③ 連携と協働 ④ 医の倫理とソーシャルワーク ⑤ 生命倫理とソーシャルワーク ⑥ 組織と業務管理
開催日	平成30年5月26日（土） 13：30～16：30
会場	岩手医科大学附属病院 循環器センター 3階 研修室
講師	青木 慎也 氏
参加費	会員 500円 非会員 1000円
備考	保健医療ソーシャルワーク実践 保健医療ソーシャルワーク原論

基礎研修Ⅲ 価値・倫理・理論とスキル

目的	ソーシャルワーカーのアイデンティティを形成する価値・倫理・理論を学び根拠に基づいたソーシャルワーク実践を目指す。 実際のソーシャルワークスキルを学ぶ。
対象	◎ 1～3年 ◎ 4～6年 ○ 7年以上
内容	① 保健医療ソーシャルワークとは ② ソーシャルワークの固有性 ③ 価値 ④ 倫理綱領 ⑤ 原理・原則 ⑥ ソーシャルワーク理論・実践アプローチ 概論 ⑦ 援助の実際 受理・アセスメント・面接・終結 ⑧ 実践の評価と記録 ⑨ 業務開発
開催日	平成30年6月9日(土) 14:00～17:00
会場	盛岡赤十字病院 2階 研修室
講師	長田 くみ子 氏
参加費	会員 500円 非会員 1000円
備考	保健医療ソーシャルワーク原論 ソーシャルワーカーの力量を高める理論・アプローチ ソーシャルワークトリートメント

基礎研修Ⅳ 機能別ソーシャルワーク 急性期・地域包括ケア

目的	急性期医療機関の特徴とソーシャルワークの実際を知る。 関連する用語、制度を知る。
対象	◎ 1～3年 ◎ 4～6年 ○ 7年以上
内容	① 医療機関の特徴と診療報酬 ② 対象とする主な疾患 ③ 救急医療とソーシャルワークの特徴 ④ 妊産婦・小児医療とソーシャルワークの特徴 ⑤ 意思決定支援 ⑥ インフォームドコンセント リビングウィル ⑦ 地域連携パス ⑧ 傷病手当金と障害年金
開催日	平成30年8月18日(土) 14:00～17:00
会場	岩手県立中央病院 3階 視聴覚室
講師	渡邊 純子 氏
参加費	会員 500円 非会員 1000円
備考	

基礎研修Ⅳ 機能別ソーシャルワーク 回復期リハビリテーション 難病

目的	回復期医療機関の特徴とソーシャルワークの実際を知る。 関連する用語、制度を知る。
対象	◎ 1～3年 ◎ 4～6年 ○ 7年以上
内容	① 医療機関の特徴と診療報酬 ② 対象とする主な疾患 ③ 回復期リハビリテーションとソーシャルワークの特徴 ④ 生活障害とソーシャルワークの特徴 ⑤ 障がい受容の過程とアプローチ ⑥ 難病対策 ⑦ 交通事故被害者生活支援 ⑧ 就労支援 ⑨ 身体障害者手帳 障がい者総合支援法 ⑩ 労働災害保険 自賠責保険
開催日	平成30年9月8日(土) 14:00～17:00
会場	つなぎ温泉病院 新館 地下1階 会議室
講師	巢内 洋肇 氏
参加費	会員 500円 非会員 1000円
備考	

基礎研修Ⅳ 機能別ソーシャルワーク 精神科領域

目的	精神科医療機関の特徴とソーシャルワークの実際を知る。 関連する用語、制度を知る。
対象	◎ 1～3年 ◎ 4～6年 ○ 7年以上
内容	① 医療機関の特徴と診療報酬 ② 対象とする主な疾患 ③ 精神保健福祉法と入院形態 ④ 精神疾患・認知症とソーシャルワーク ⑤ 精神障害者保健福祉手帳 ⑥ 障害者総合支援法と自立支援医療 ⑦ 精神障害者に関する福祉施策
開催日	平成30年10月20日(土) 14:00～17:00
会場	都南病院
講師	工藤 隆司 氏
参加費	会員 500円 非会員 1000円
備考	

基礎研修Ⅳ 機能別ソーシャルワーク 介護保険関連

目的	高齢者支援に欠かせない介護保険の仕組みを理解し、活用できるように知識を深める。 介護保険サービスの利用プロセスと医療ソーシャルワーカーの関わりを知る。 地域包括ケアシステムを含む地域の支援体制の構築について知る。 高齢者に関連する用語、制度を知る。
対象	◎ 1～3年 ◎ 4～6年 ○ 7年以上
内容	① 介護保険制度の概要 ② 要介護認定の仕組み ③ 介護保険サービスと介護報酬 ④ 介護老人保健施設 ⑤ 特別養護老人ホーム ⑥ 在宅サービスと地域包括ケアシステム ⑦ 介護保険におけるソーシャルワーク ⑧ 高齢者虐待 ⑨ 成年後見制度
開催日	平成30年11月10日(土) 14:00～17:00
会場	ケアセンター南昌 2階 研修室
講師	小泉 進 氏
参加費	会員 500円 非会員 1000円
備考	

基礎研修Ⅳ 機能別ソーシャルワーク 療養型病棟 緩和ケア病棟 在宅医療

目的	慢性期ターミナル期医療機関の特徴とソーシャルワークの実際を知る。 関連する用語、制度を知る。
対象	◎ 1～3年 ◎ 4～6年 ○ 7年以上
内容	① 医療機関の特徴と診療報酬 ② 対象とする主な疾患 ③ 高齢者医療とソーシャルワーク ④ 緩和ケアとソーシャルワーク ⑤ 在宅医療とソーシャルワーク ⑥ ターミナルケアとグリーフケア ⑦ 意思決定支援 ⑧ 死に際してMSWが留意、支援すること
開催日	平成31年1月26日(土) 14:00～17:00
会場	盛岡赤十字病院 2階 研修室
講師	阿部 邦子 氏
参加費	会員 500円 非会員 1000円
備考	

基礎研修Ⅴ スーパービジョンの概要

目的	対人援助職として自分の傾向価値観を知る。 スーパービジョンの概要を知る。 セルフスーパービジョンの方法。
対象	◎ 1～3年 ◎ 4～6年 ○ 7年以上
内容	① 自己覚知の必要性 ② スーパービジョンの意義 ③ スーパービジョンの3つの機能 ④ スーパービジョンの3者の関係と過程 ⑤ スーパービジョンの形態 ⑥ スーパービジョンの展開 ⑦ セルフスーパービジョン
開催日	平成30年7月28日(土) 14:00～17:00
会場	盛岡赤十字病院 2階 研修室
講師	山舘 幸雄 氏
参加費	会員 500円 非会員 1000円
備考	スーパービジョンインソーシャルワーク 保健医療ソーシャルワーク原論 改訂版 第11章

基礎研修Ⅵ ピアスーパービジョンⅠ

目的	グループで行うスーパービジョンの理論を学ぶ。 グループスーパービジョンを経験しその有効性を実感する。
対象	◎ 1～3年 ◎ 4～6年 ○ 7年以上
内容	① スーパービジョンとは何か ② ピアスーパービジョンの進め方と守られた環境について ③ グループスーパービジョンを体験してみよう テーマ「職場に関すること」 日頃職場で疑問に思っていること、困っていることなど
開催日	平成31年1月12日(土) 14:00～17:00
会場	盛岡赤十字病院 2階 研修室
講師	小泉 進 氏
参加費	会員 500円 非会員 1000円
備考	受講される方は当日演習で行うテーマについて話題提供できるように、内容を検討しておいてください。資料等の用意は不要です。

基礎研修Ⅶ ピアスーパービジョンⅡ

目的	事例を用いてグループスーパービジョンを行う。 支持的スーパービジョンの展開と効果を知る。
対象	◎ 1～3年 ◎ 4～6年 ○ 7年以上
内容	① ピアスーパービジョンの進め方と個人情報保護について ② ピアスーパービジョン演習 テーマ 「 実践事例に関すること 」 1) 事例の概要 2) 事例提出理由 3) グループで検討したい内容
開催日	平成31年3月2日(土) 14:00～17:00
会場	盛岡赤十字病院 2階 研修室
講師	小泉 進 氏
参加費	会員 500円 非会員 1000円
備考	受講される方は当日演習で行うテーマについて話題提供できるように、内容を検討しておいてください。資料等の用意は不要です。

基礎研修Ⅷ じえじえじえ Cafe

目的	カフェのような気軽な雰囲気的交流し、顔の見える関係を構築する。
対象	◎ 1～3年 ◎ 4～6年 ○ 7年以上
内容	テーマを決めて気楽に話そう。 例) 援助と支援はどう違う？ 魅力的場なMSW像は？ MSWの業務において一番大事なことって何だろう？ 他職種と連携するために必要なことって？ 効率的に仕事を進めるための必須アイテムは？
開催日	平成30年12月8か15日(土) 14:00～17:00
会場	松園第二病院 2階 会議室
担当	長田 くみ子 氏
参加費	お茶代 500円
備考	名刺や、PRがある方はパンフレットなど資料をお持ちください

実践・方法論Ⅰ クライアント中心理論 エコロジカル理論 / 行動理論 認知理論

目的	クライアントが抱える問題、状況に応じて理論を用いた実践ができるよう、理論の理解を深める。
対象	◎ 1～3年 ◎ 4～6年 ○ 7年以上
内容	① 理論の概要についての講義 ② 事例を用いた理論の理解
開催日	平成30年7月21日(土) 14:00～17:00
会場	県立中央病院 3階 視聴覚室
講師	金田 可南子 氏
参加費	会員 500円 非会員 1000円
備考	川村隆彦(2011) 『ソーシャルワーカーの力量を高める理論・アプローチ』 中央法規出版

実践・方法論Ⅱ 生物・心理・社会的アプローチ システムアプローチ / 危機介入

目的	クライアントが抱える問題、状況に応じて理論を用いた実践ができるよう、理論の理解を深める。
対象	◎ 1～3年 ◎ 4～6年 ○ 7年以上
内容	① 理論の概要についての講義 ② 事例を用いた理論の理解
開催日	平成30年8月4日(土) 14:00～17:00
会場	盛岡赤十字病院 2階 会議室
講師	川村 菜緒美 氏
参加費	会員 500円 非会員 1000円
備考	川村隆彦(2011) 『ソーシャルワーカーの力量を高める理論・アプローチ』 中央法規出版

実践・方法論Ⅲ 問題解決 課題中心 / エンパワメント ナラティブ

目的	クライアントが抱える問題、状況に応じて理論を用いた実践ができるよう、理論の理解を深める。
対象	◎ 1～3年 ◎ 4～6年 ○ 7年以上
内容	① 理論の概要についての講義 ② 事例を用いた理論の理解
開催日	平成31年2月2日（土）14:00～17:00
会場	県立中央病院 3階 視聴覚室
講師	熊谷 彩子 氏
参加費	会員 500円 非会員 1000円
備考	川村隆彦（2011） 『ソーシャルワーカーの力量を高める理論・アプローチ』 中央法規出版

事例検討Ⅰ

目的	面接の場면을逐語録にする過程で、振り返りを行うことにより自身の面接の傾向や感情の動きに気づく。 面接の中で用いられた言葉や行動の意味についてスーパーバイズを受けることによりクライアントや援助者としての自分の言動の意味に気づく。
対象	○ 1～3年 ◎ 4～6年 ◎ 7年以上
内容	① 事例提供者は自身の面接の場면을録音などから逐語録に起こす。 ② 1) 検討したいと考えた理由 2) 事例の概要 3) 面接場面の説明 4) 逐語録（30分以内） 5) 気づいた問題点と援助の方向 についてまとめる。 ③ 提供された事例をもとにグループスーパービジョンを行う。
開催日	平成30年12月8か15日（土）14:00～17:00
会場	松園第二病院 2階 会議室
講師	東北福祉大学 田中 尚 氏
参加費	会員 500円 非会員 1000円
備考	渡部律子（2007） 『基礎から学ぶ気づきの事例検討会』 中央法規出版

事例検討Ⅱ・Ⅲ

目的	実践事例を用いた事例検討を行うことで、根拠となる理論や価値観を言語化する。 実践の方法や制度について議論、情報交換を行うことで新たな視点や実践のヒントを得る。
対象	○ 1～3年 ◎ 4～6年 ◎ 7年以上
内容	ホワイトボードを用いた事例検討
開催日	① 事例検討Ⅱ 平成30年9月29日(土) 14:00～17:00 ② 事例検討Ⅲ 平成31年3月16日(土) 14:00～17:00
会場	松園第二病院 2階 会議室 ※①②共に同会場
講師	沼田 崇子 氏
参加費	会員 500円 非会員 1000円
備考	

バイザー養成研修Ⅰ スーパーバイザーのスキル

目的	スーパーバイザーとしての心構えと個別スーパービジョン、グループスーパービジョンのファシリテーターが行えるスキルを身につける。 病院実習の受け入れの準備と自身のスキルアップを図る。
対象	◎ 7年以上
内容	① スーパーバイザーになること、 スーパーバイザーであることの課題とストレス 移行期：スタッフからスーパーバイザーへ まとめ：スーパーバイザーになるときのストレス ② 評価の有用性 ③ 医療ソーシャルワーク実習
開催日	平成30年9月1日(土)
会場	岩手医科大学付属病院循環器センター 3階 研修室
講師	山舘 幸雄 氏
参加費	会員 500円 非会員 1000円
備考	スーパービジョンインソーシャルワーク 第5版

バイザー養成研修Ⅱ 困難事例を用いたグループスーパービジョン

目的	経験を重ねてもなお困難と感じるクライアントの情報を共有し、アセスメントに不足している視点、クライアントやSWのストレングスがどこにあるか見出す視点を得る。 SWとしての実践を理論的に価値・倫理・理論を当てはめて振り返ることにより、実践の根拠を得、スーパーバイザーとしての指導に役立てる。
対象	◎ 7年以上
内容	事前準備 ① 困難事例の抽出と情報の整理 可能な限り逐語録作成 ② 支援の過程、場面においてどんな価値・倫理・理論を用いていたか振り返る グループスーパービジョン 価値・倫理・理論を意識したフィードバックとアドバイスを行い教育的機能を発揮する スーパーバイザーとしてバイザーのストレングスを見出し支持的機能を発揮する
開催日	平成30年10月13日(土) 14:00~17:00
会場	盛岡赤十字病院 連携室
講師	山舘 幸雄 氏
参加費	会員 500円 非会員 1000円
備考	

バイザー養成研修Ⅲ 指導事例を用いた検討

目的	スーパービジョンを実際に行った事例を用い、スーパーバイズの内容に対するスーパービジョンを行うことにより、スーパービジョンの質の向上を目指す。
対象	◎ 7年以上
内容	事前準備 ① 指導事例の抽出と情報の整理 可能な限り逐語録作成 ② 支援の過程、場面においてどんな価値・倫理・理論を用いていたか振り返る グループスーパービジョン 価値・倫理・理論を意識したフィードバックとアドバイスを行い教育的機能を発揮する スーパーバイザーとしてバイザーのストレングスを見出し支持的機能を発揮する
開催日	平成31年2月16日(土) 14:00~17:00
会場	盛岡赤十字病院 連携室
講師	山舘 幸雄 氏
参加費	会員 500円 非会員 1000円
備考	

定例研修Ⅰ

目的	医療ソーシャルワーカーとして、社会的ニーズや制度の動向や取り組みを知る
対象	全会員
内容	<p>地域包括ケアの深化・地域共生社会 MSW は、いかに地域貢献出来るか</p> <p>講演：「在宅医療介護連携推進事業について」</p> <p>活動実践報告：北上市在宅医療介護連携支援センター 菊池涼子 氏 紫波郡医療介護連携支援センター 吉田利春 氏 岩手県立宮古病院 地域医療連携室 湯澤 克 氏</p>
開催日	平成30年6月23日（土） 13：30～15：00
会場	盛岡市勤労福祉会館 401・402 会議室
講師	岩手県保健福祉部 長寿社会課 主任 加藤 忍氏
参加費	会員 500 円 非会員 1000 円
備考	

定例研修Ⅱ 「対話促進によるコンフリクト・マネジメント」

目的	<p>ソーシャルワーカーデイに合わせた合同研修</p> <p>ソーシャルワーカーの啓蒙活動</p> <p>医療ソーシャルワーカー協会、精神保健福祉士会、社会福祉士会 SW 関連三団体の交流を図る。</p>
対象	全会員
内容	<p>メディエーションは、広くさまざまな場面で応用可能な対話促進・問題解決モデルであり、苦情や事故発生時の院内初期対応にメディエーション・モデルを導入する試みは、わが国でも次第に浸透してきている。医療事故やさまざまな現場でのトラブルに際して、そのよりよい対応のあり方を模索する一つの試みとして、院内医療メディエーターの育成と普及を進めている日本医療メディエーター協会シニアトレーナーである講師を招き、SW 実践の場でも活用できると考えられるコンフリクトマネジメントについて学ぶ。</p>
開催日	平成30年7月14日（土） 13：30～16：40
会場	アイーナ812 研修室
講師	岩手県中部病院 院長 伊藤達朗 氏（日本医療メディエーター協会シニアトレーナー）
参加費	無料
備考	<p>社会福祉士会、精神保健福祉士会、当協会との合同開催</p> <p>毎年各協会の担当者が事前企画の上、別途開催案内をします。</p>

定例研修Ⅲ

目的	ソーシャルワーカーとしての基礎的な知識・技術を取得し、実践力を高めるための知識を得る。今年度は当協会60周年の記念の年であり、記念講演を企画する。
対象	全会員
内容	検討中
開催日	平成30年11月24日(土)
会場	ホテル サンセール盛岡
講師	未定
参加費	未定
備考	

送信先：岩手県立中央病院 医療相談室 渡邊純子 行

FAX : 019-622-9995

E-mail : junko-watanabe@pref.iwate.jp

※締切日：平成 30 年 10 月 31 日

研修・祝賀会 共に欠席の場合は送信不要です。

岩手県医療ソーシャルワーカー協会

定例研修Ⅲ 参加申込書

定例研修Ⅲに 参加 欠席 いたします。

※定例研修Ⅰ（総会時）及び定例研修Ⅱ（3団体合同研修）につきましては、別途事務局よりご案内いたします。

祝賀会に 参加 欠席 いたします。

参加者氏名 _____

所 属 _____（会員・非会員）

連絡事項

（申し込み・問い合わせ先）

岩手県立中央病院 医療相談室 渡邊純子（研修）

TEL：019-653-5111

FAX：019-622-9995

送信先：松園第二病院 医療福祉相談室 長田くみ子 行

FAX : 019-661-0033

E-Mail : osa-kumi@dj8.so-net.ne.jp ※締切日：各研修開催日の5日前まで

岩手県医療ソーシャルワーカー協会

基礎研修 参加申込書

- 基礎研修Ⅰ
- 基礎研修Ⅱ
- 基礎研修Ⅲ
- 急性期 地域包括ケア
- 回復期リハ 難病
- 療養型病棟 緩和ケア 在宅医療
- 介護保険関連
- 精神科領域
- じえじえじえ Café

上記研修に参加申し込みいたします。

参加者氏名

所 属

(会員・非会員)

連絡事項

(申し込み・問い合わせ先)

松園第二病院 医療福祉相談室 長田くみ子 (基礎研修・機能別)

TEL : 019-662-0100

FAX : 019-661-0033

E-Mail osa-kumi@dj8.so-net.ne.jp

送信先：介護老人保健施設 博愛荘 小泉進 行

FAX：019-611-2071

E-mail：kizm.ssm@gmail.com

※締切日：基礎研修Ⅴは7月20日 その他研修は総会終了から1週間後まで

岩手県医療ソーシャルワーカー協会

基礎研修Ⅴ 事例検討 スーパービジョン研修 参加申込書

- 基礎研修Ⅴ スーパービジョンの概要
- 事例検討
- ピアスーパービジョン
- スーパーバイザー養成研修

上記研修に参加申し込みいたします。

※ 基礎研修Ⅴ以外は通年での研修となります。クローズグループでの研修となりますので、原則すべての回に参加する必要がありますのでご注意ください。

参加者氏名 _____

所 属 _____ (会員・非会員)

連絡事項

事例の提供 検討したい事例がある 協力できる まだわからない

(申し込み・問い合わせ先)

介護老人保健施設 博愛荘 小泉進 (SV/事例検討)

TEL：019-698-2015

FAX：019-611-2071

送信先： 栃内第二病院 熊谷彩子 行

FAX： 019-684-1114

E-Mail： tochi2hp-msw@ab.auone-net.jp

※締切日：各研修開催日の10日前まで

岩手県医療ソーシャルワーカー協会

実践方法論研修 参加申込書

- クライアント中心理論 エコロジカル理論 / 行動・認知理論
- 生物心理社会的・システムアプローチ / 危機介入 理論・アプローチ
- 課題中心・問題解決アプローチ / エンパワメント・ナラティブアプローチ

上記研修に参加申し込みいたします。

参加者氏名 _____

所 属 _____ (会員・非会員)

連絡事項

(申し込み・問い合わせ先)

栃内第二病院 熊谷彩子 (実践方法論)

TEL： 019-684-1111

E-Mail： tochi2hp-msw@ab.auone-net.jp

	開催月	研修タイトル	対象者	H29年度	H30年度	H31年度
定例研修	6月	定例研修Ⅰ（総会時）	全員			
	7月	定例研修Ⅱ 3団体合同研修	全員			
	11月	定例研修Ⅲ	全員			
基礎研修	4月	基礎研修Ⅰ	3年間に1度	休講		
	5月	基礎研修Ⅱ		休講		
	6月	基礎研修Ⅲ		休講		
	12月	じぇじぇじぇCafe				
	8月	急性期 地域包括ケア				
	9月	回復期リハ 難病				
	10月	精神科領域				
	11月	介護保険関連				
	1月	療養型病棟 緩和ケア 在宅医療				
実践方法論	7月	クライアント中心理論 エコロジカル理論	3年間に1度			
		行動理論 認知理論				
	8月	生物心理社会的アプローチ				
		システムアプローチ 危機介入アプローチ				
2月	課題中心・問題解決アプローチ					
	エンパワメント ナラティブアプローチ					
事例検討	12月	事例検討Ⅰ（逐語）	年度固定			
	9月	事例検討Ⅱ				
	3月	事例検討Ⅲ				
スーパービジョン	7月	基礎研修Ⅴ スーパービジョンの概要	全員	H29のみ11月		
	1月	ピアスーパービジョンⅠ	年度固定			
	3月	ピアスーパービジョンⅡ				
	9月	スーパーバイザー養成研修	年度固定			
	10月	困難事例を用いたGSV				
	2月	指導事例を用いたGSV				